

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 豊田

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭は吹き出しによる「問いかけ」で課題を示し、教材末のてびきで学習目標と振り返りを配置し、振り返りにおいて「学んだことを自分の言葉でまとめる」よう示している。 ○巻末に「学びを支える言葉の力」として、国語科で付けた力の他教科や生活へのつながりが示してあり、主体的に学習を進めるための工夫がされている。 ○単元の扉等を活用し、伝統・文化についての知識・理解を進める工夫がされている。 ○読書単元を設定し、読書活動及び言語活動をとおして自己の振り返り等、主体的な学びが行えるようになっている。
書 写	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○本編中の各学年において、書き初めが取り扱われている。また、書くときの姿勢が写真で示されている。 ○活用単元として身近な活動題材にして、身に付けた知識・技能を生活の中で生かす場面が設定されており、巻末に教科の学習や生活で使う書式と解説をまとめた「書写活用ブック」がある。 ○各学年、「生活に広げよう」のテーマ単元を設定して、言語活動例が示してある。
社 会 (地理的分 野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習した知識を使用して、その問いに対して理由を説明する「確認」まで構造化されており、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための工夫がされており、小学校における既習事項の確認や他分野を意識した構成となっている。 ○写真の比較や、グループで話し合う学習活動があるなど、作業的・体験的な学習活動を多く示している。 ○各章でまとめを行う活動では、知識を問う問題だけではなく、自分の言葉でまとめる活動に加えて、更に学びを深めるために、探究課題という学習活動があるなど、作業的・体験的な学習も充実している。
社 会 (歴史的分 野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み取る」「まとめる」等の基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」のコーナーを設けてあり、各章末に語句や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な事項についてまとめる部分を設けている。 ○導入の活動を通して生徒自身が主体的に学習課題をつかむように構成され、「探求課題」と「探求ステップ」が示されている。 ○内容本文のページについて、ほぼ全てのページを同一レ

		<p>イアウトとして見やすい構成となっている。</p> <p>○グループで対話的に課題に取り組むコーナーを設定し、各章末には「まとめの活動」として、思考ツール等を用いて思考・判断・表現をさせるページを設けている。</p>
<p>社 会 (公民的分 野)</p>	<p>東書</p>	<p>○1 単位時間を見開き 2 ページとし、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「チェック」「トライ」で構造化してまとめしており、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図る工夫がされている。</p> <p>○学習の導入の活動を通して、単元学習をつらぬく「探求課題」へとつながられており、生徒が主体的に学習に取り組む工夫がされている。</p> <p>○中単元ごとに「探求のステップ」を設定し、大単元末に思考ツールを用いて整理・分析することで学習活動を振り返らせる工夫がされている。</p>
<p>地 図</p>	<p>帝国</p>	<p>○A 4 版で製本されており、全体を通して大判の地図が掲載されている。そのため、細部の表現が可能となっており、細かい高低差による土地活用の工夫や水害等による災害への備えについて掲載されている。</p> <p>○世界各州で「同緯度・同縮尺の日本」が表記され、常に日本との比較ができるよう編集されている。</p> <p>○主体的な学習に取り組む工夫として、京阪神に加え、京浜地域の観光図も掲載し、修学旅行等の事前学習にも活用できるよう工夫されている。</p> <p>○地図読解のための統計資料や図版資料、模式図等に加え、二次元コードを世界各州と日本の地方ごとに掲載し、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを閲覧できるようにしているとともに、「地図活用」等の地図読解の着眼点の掲載もある。</p>
<p>数 学</p>	<p>東書</p>	<p>○過去の全国学力学習状況調査の結果でみられた「つまずき」や「典型的な誤答例」をふまえ、生徒が同じ誤りを繰り返さないための工夫や配慮がみられる。</p> <p>○「章のとびら」では、日常生活の一場面をイラストと問いかけで提示し、章の学習をとおして、生徒自ら考え、学習が進められる工夫がされている。</p> <p>○すべての領域においてデジタル教材を備えており、新たな学習内容「データの活用」領域でのデジタル教材が充実している。</p> <p>○「深い学びのページ」では、自分の考えを説明し、他者と伝え合う活動が設けられており、「学びを振り返ろう」では、話し合ったり、自分の言葉でまとめたりすることで、自己の学びの振り返りの場面が設定されている。</p>

理科	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かめと応用」とし、基本問題と活用問題が記載され、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。 ○各章の最初と最後に課題が提示されており、学習前後の変化を自分自身で比較させる課題が設定されている。 ○各学年の巻頭に、「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」を設定し、「議論の進め方」と「議論のポイント」を示し、「伝わる言葉にしよう」や「発表の仕方」を設定し、具体的な対話例や、結論を自分でまとめる工夫がなされている。
音楽 (一般)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○発声について3学年にわたり発達段階に応じて段階的に示されており、楽典の学習においてゲーム的要素を取り入れて生徒の興味・関心を高め、反復学習ができるよう工夫されおり、基礎・基本の定着を重視した工夫が見られる。 ○鑑賞教材の選択も、様々なジャンルが網羅されており、音楽のイメージを印象強く感じ取らせるような写真、挿絵を入れるなどの工夫が見られる。 ○楽譜、写真などが大きく掲載され、視覚的に生徒の興味・関心を引く工夫がなされており、生徒が協働しながら学習を進められるような配慮が見られる。
音楽 (器楽合奏)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○各楽器の構造・種類・奏法・構え方・運指などの確に提示されており、授業を進めていく上で、生徒が主体的に器楽奏法に取り組むためのポイントがページ下に示されている。 ○生徒が協働しながら学習を進められるよう「アンサンブルセミナー」を設定している。 ○資料としても写真、イラストを多く使い視覚的な効果を意識した工夫がされている。 ○言語活動においては「深めよう音楽」で話し合う場面が設定されている。
美術	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○「生徒が主体的に学習に取り組む工夫」として、題材ごとに「授業が見える」構成をし、「表現」と「鑑賞」を一体的に学べるようになっている。 ○QRコードを掲載し、技法動画、音声ガイド、360度動画、全国の生徒作品を用意している。 ○生徒が主体的に作品を鑑賞し、自然に対話が生まれるよう、各題材の最初に、鑑賞図版とともに問いかけを示し、生徒のコミュニケーション能力の育成と言語活動の充実を図るために、他者と意見交換をしながら作品をつくる様子や、作者の思いや作成の意図を伝える「作者の言葉」を掲載している。
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○各章末に「章のまとめ」があり、育成を目指す資質能力の三つの観点にそった構成になっており、知識・技能の定着度、学習活動への取り組み方など、学習の成果を振り返る内容が充実している。 ○イラストや図を有効に使って気付きや思考を促し、授業

		<p>のはじめに本時の課題を明確にする工夫がされている。</p> <p>○本文で学んだことに関連した「特集資料」や、学びを深めるための「クローズアップ」と「コラム」が掲載されている。</p>
技術・家庭 (技術分野)	東書	<p>○基礎・基本の向上のために、基礎問題と重要語句のリストを掲載し、学習の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○基礎的な技能は、写真やイラストを見るだけでわかるようにしてあり、問題解決学習に際しては、より実践的な課題について考えさせるなど、主体的に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○全体を通して、話し合い活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を高めるようにしているとともに、技術分野特有の言語活動が丁寧に示され、思考ツールを利用して考えを整理する活動が設定されている。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>○五大栄養素と6つの食品群の関連を折り込みページで示し、関連がわかりやすく工夫されている。</p> <p>○新設された「蒸す調理法」について、蒸し器がない場合の蒸す調理法を紹介されており、現代の家庭を意識した掲載があるなど、学んだ基礎的な内容を、日常生活での実践を促す展開になっている。</p> <p>○巻頭の「ガイダンス」に自分の生活をチェックするページを設け、1年ごとの変容が見られるようになっている。</p> <p>○QRコードを巻末に一覧としてまとめる工夫がされている。</p>
英 語	三省堂	<p>○小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞き、円滑な中学校への学習につなげる工夫がある。</p> <p>○1つの単元の中に、基礎的・基本的な事項の習得とそれらの活用のための題材が設定されており、4技能それぞれの特色を生かした形で配置され、学習の段階がつかみやすい構成となっている。</p> <p>○巻末に What Can I Do?を示し、各領域に2~4項目の学年学習到達目標を設定し、できるかどうかをチェックするボックスを設けている。</p> <p>○単元毎のまとめ、イラストによる文法事項の説明、巻末の語彙リストなど、生徒が自らの課題に応じて主体的に学習に取り組むことができるよう工夫が多様である。</p>
特別の教科 道徳	日文	<p>○学び方を深める手立てとして、道徳科の学び方を写真で示したり、役割演技の活動場面を示したりするなどの工夫がある。</p> <p>○資料末に示された問いは2つに精選されており、人間としての生き方を深く考える工夫がある。</p> <p>○問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習に適した教材が3年間を通して体系的計画的に配置されている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」に、毎時間の自分への振り返りや、巻頭には年度初めに、自分の思いを書くスペースがあり、</p>

		巻末にも学期ごとの「道徳で学んだことを振り返ってみよう」が設けられており、友達の見解や話合いをメモする欄もある。
--	--	--